

山形県看護連盟だより



糸の花

第 41 号

平成30年 2月28日発行

発行所 / 山形県看護連盟
〒990-0023 山形市松波 4 丁目1-39
明泉ビル 2 F
TEL 023-633-8153
FAX 023-633-8157
発行責任者 / 伊藤 加代子
印刷所 / コロニー印刷(山形福祉工場)



平成29年11月4日 栗子トンネル開通

C O N T E N T S

◆山形県看護連盟	伊藤加代子会長あいさつ …………… 2	県別会議・支部長・施設連絡員合同研修 排泄ケア研修
◆北海道・東北ブロック 看護管理者	看護教育者等政策セミナー …………… 2	◆施設訪問結果「現場の声」…………… 4・5
◆山形県看護連盟研修 …………… 3	リーダー研修 第2回看護協会・連盟合同研修	◆今後の予定・議員コーナー、看護連盟 豆知識、編集後記 …………… 6
		◆会員募集・コマーシャル …………… 6



山形県看護連盟 会長 伊藤 加代子

向春の候、会員の皆様にはますますご清祥のことと存じます。

昨年10月の衆議院議員選挙では、私たち看護職の代表である、あべ俊子衆議院議員（5期目）、木村やよい衆議院議員（2期目）が見事当選を果たしました。大変嬉しく思います。

また、たかがい恵美子参議院議員は文教科学委員会委員長として、石田まさひろ参議院議員は厚生労働委員会筆頭理事としてご活躍されております。

4人の国会議員の皆様には、これからも看護政策実現に向けてご尽力いただけるものと確信しております。

さて、山形県看護連盟の活動も皆様のご協力を頂き、看護協会との合同研修会、石田まさひろ議員の講演会を残すのみとなりました。昨年、たくさんの施設訪問をさせて頂き、皆様からの「現場の声」を

石田まさひろ参議院議員にしっかり届けることが出来ました。

また、自民党女性局と連盟役員・支部長との対話集会を初めて開催することができました。私たち看護職に求められる役割も大きく拡大してきている中での「看護の現場の課題」を知っていただくことが出来ました。これから先、問題意識を共有し問題解決に向けた連携をということで「看護問題対策議員連盟、通称：看護連」の設立に向けてプレゼンもさせて頂き、設立に向けたご理解を頂いているところです。

平成30年度も山形県看護連盟の「組織の拡大と強化」に力を入れ、さらなる「ワン」upを目指し、着実な一步を踏み出していきたいと思っております。

会員皆様のご支援をお願いし、ますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

平成29年度北海道・東北ブロック 看護管理者看護教育者等政策セミナー

開催日：平成29年8月19日(土)～20日(日)

場 所：秋田キャッスルホテル

山形県立こころの医療センター 西塔 誠子



千秋公園の見事な蓮の花に感激し、また、交流会での竿灯の披露を企画していただいた秋田県看護連盟の方々に感謝申し上げます。

最初に「医療政策の動向と課題」と題して島崎氏より講演があり、医療・看護の現状と未来が数字からはっきり見えてきて、大変勉強になりました。次に、柳葉敏郎氏の急な欠席で石垣正和氏に変更になり、心温まる「笑い」をいただきホットしました。石田まさひろ参議院議員からは「現場の声を政策につなげるためには！」と題してお話があり、温かい励ましで元気をもらいました。

2日目は菊池令子氏により「看護協会の看護政策について」講演があり、これからの地域包括ケアシステム構築に向けて訪問看護の重要性や看護基礎教育制度の充実等について学びました。最後のグループワークは政治への関心を高めるためには？というテーマで活発な意見交換があり、今後「議員の活躍を語り伝えること」を大切にしていきたいと思います。



平成29年度 山形県看護連盟研修会



開催日：平成29年8月26日(土)
 場所：篠田総合病院 講堂
 講師：認定看護管理者 日本海総合病院副院長兼看護部長
 佐藤 枝氏
 テーマ 「リーダーの役割」

山形市立病院済生館 黒田 恵子



今回の研修会参加は、リーダーシップの役割を再確認し、メンバーとどのように関わればよいのか、課題を見つけるためのものでした。組織理解から始まり、経験豊かで看護への情熱ある佐藤先生よりパワーを頂き楽しくわかりやすく受講することができました。

目標管理のプロセスでは、改善はPDCAサイクル、維持管理をSDCAサイクルと使い分けるようになっていくことを知りました。標準を確実に守り維持することが仕事の質向上につながることで理解できました。リーダーシップ論では、自分はどんなタイプのリーダーなのか、自己分析してメンバーとの関わりを客観的にみていくことが必要だと感じました。リーダーとは、メンバーの声に耳を傾け、よく説明し、援助し、よく話し合う、そして公正に評価し、責任をもって計画を遂行すること。自己を知り、相手を尊重し認めながら共に成長していきたいと思いました。

開催日：平成29年10月7日(土)
 場所：山形県看護協会会館看護研修センター
 講師：日本看護連盟常任幹事 長 沢 恵美子 氏

テーマ 平成29年度都道府県別会議・支部長・施設連絡員合同研修会

東西村山第二支部長 大熊 由紀



去る10月7日に看護協会会館で日本看護連盟常任幹事の長沢恵美子先生より『看護と政治“未来に向かって私達ができること”』について熱弁をいただきました。看護を取り巻く課題が山積みされている中、現場の声を国政に反映するためには、看護職の代表を私達

の手で国会に送る必要があること。現場の声がいかに大切でそれが議員の方の行動につながり、実際看護関連予算で改善された看護業務や今回は国家公務員の夜間看護手当の20年ぶりの増額等ご努力されていることがわかりました。その後グループワークの中では、トップマネジメントの重要性、会員の地道な行動の大切さ、SNSを使ったお知らせや石本茂さんの本を漫画で作る等若い世代の政治に関する関心をいかに広げていくかが未来へ繋ぐ鍵となる等様々な意見が出ました。施設連絡員としてできる事、丁寧に仲間を増やす為に研修会を企画し看護の代表者の名前を知らせ、選挙に行こうと呼びかけること等を仲間と取り組んでいきたいと思いました。



開催日：平成29年9月30日(土)
 場所：山形県看護協会会館看護研修センター
 講師：日本海総合病院理事長
 栗谷 義樹氏
 テーマ
 「地域医療構想実現に向けてー地域医療連携推進法人についてー」

鶴岡市立荘内病院 丸山 邦

山形県北庄内における地域医療連携推進法人について、山形県酒田市病院機構理事長の栗谷義樹先生よりご講義をいただきました。酒田市における経営主体の異なる自治体病院の再編統合から統合後の運営状況、地域の医療機関の連携に欠かせない地域ICT「ちようかいネット」の運用について、地域の抱える今後の課題とそれに対応するための地域医療連携推進法人設立に向けた取り組みについての内容でした。

少子高齢社会の到来で社会保障費の増大が課題であり、限られた財源の中で、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるように、地域の実状に合わせた仕組みづくりが求められています。講義を拝聴し、高齢化や人口減少のスピードに改め強い危機感を持ちました。施設単位ではなくその地域で必要な医療介護が提供できるように、地域が持っている人材や医療機器を効率的に活用し、連携する仕組みの構築が必要であると感じました。



開催日：平成29年10月14日(土)
 場所：東北中央病院
 講師：山形県立河北病院 認定看護師
 奥山 由美氏

テーマ 「快適な排泄ケア」

東北中央病院 大沼 千乃



私の病棟では主に脊椎疾患の患者が多く、神経の圧迫による排尿障害や術式によっては、数週間～1ヵ月間のベッド上安静になることもあり、その間にオムツによる皮膚障害を起こすことがありました。そのため、事前に皮膚障害を予測しケアしていく知識が必要と考えていました。

今回排泄ケアの研修を通して、失禁の要因は何かを把握していくことでケアの仕方が変わってくるということがわかりました。又、オムツ内の皮膚は細菌が繁殖しやすく、高齢者は特に皮膚障害が出やすくなることや、何度も拭き取りを行うことは、皮膚への負担を大きくしてしまうことを学びました。さらに、オムツの性能を把握し、適切に装着することで漏れを防ぐことにも繋がるということがわかりました。

今回の学びを病棟スタッフで共有し、患者のケアに努めていきたいと思っております。



平成29年度 施設訪問報告

報告者：山形県看護連盟副会長 大竹 久子

平成29年度、山形県看護連盟は、重点目標の1番に「組織の拡大と強化」を掲げ活動をしてきました。その活動の一つが施設訪問です。

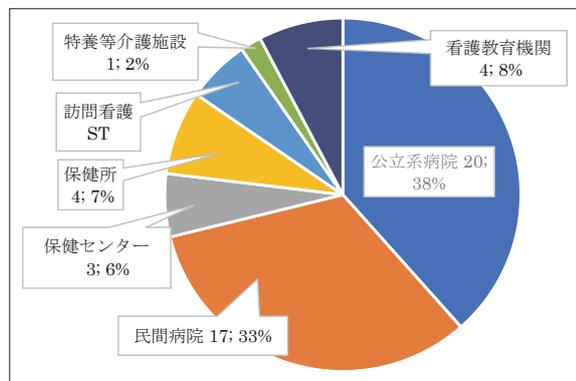
施設訪問は、会員数増加活動の一環として位置づけ、8月と11月に実施しました。訪問メンバーは、伊藤会長、小松幹事長、大竹の3人を中心に計画し、庄内地区では市村支部長、置賜地区では鈴木支部長に同行をお願いしました。

1回目の訪問目的の第1は、平成29年度新役員体制の周知とご挨拶でした。併せて、「石田まさひろを応援する会」立ち上げの周知と日頃の連盟活動へのご理解とご協力に感謝を伝え、更なる協力をお願いすることとしました。施設訪問は、8月1日から9日までの間の4日間に実施し、36施設を訪問させていただきました。

表 1. 平成29年度施設訪問数

	平成 29 年 8 月	平成 29 年 11 月	合 計
庄内地区	8 施設		8 施設
最上地区	2 施設	2 施設	4 施設
村山地区	6 施設	2 施設	8 施設
置賜地区	1 2 施設	4 施設	1 6 施設
山形市内	8 施設	8 施設	1 6 施設
合 計	3 6 施設	1 6 施設	5 2 施設

図 1. 訪問施設の種別割合 (N=52)



★平成29年度 施設訪問時の「現場の声」のまとめ

1. 診療・介護報酬

- 認定看護師が、高等学校や地域住民に対して講義を行っている。病院の地域貢献を、診療報酬で評価してほしい。(又は、地域の中核病院には実施を義務化する等)
- 認定看護師に特定行為研修を受講させ、訪問看護での活用を考えている。地方の小さい病院だからできることを頑張っていく。診療報酬での評価を期待している。
- (訪問看護) 在宅や施設での看護師による看取り時の処置が、診療・介護報酬で適切に評価されていない。(時間をかけて対応し、持ち出しも多い)
- 特養の看護師配置基準を上げてほしい。
- 看護実践を評価する介護報酬にすると、看護師も力を発揮しやすくなる。

2. 看護職確保

- 最上地域は看護師不足が深刻、地域との連携が必須である。
- 助産師不足が深刻で、診療体制に影響が出ている。
- 夜勤者確保が課題。夜勤手当も変わっていない。(多数)
- 家族との時間を大切にしたいからと、正規職員を希望しない者も増えている。
- 業務拡張に伴い、看護職員のスキルアップと人材確保に努めている。
- 看護学校を持っていても、進学や他県への就職が多くあまり残らない。
- (保健センター) 保健師の産休育休代替は保健師だと希望するが、臨時雇用では見つからない。
- (特養) 看護師が不足しており募集をしているが見つからない。

3. 勤務環境

- 現場の記録の負担が大きい。(多数)
- 夜勤免除者が多く、夜勤者の負担が大きくなっている。(多数)
- 子育て支援に力を入れている。また、夜勤免除より時短を勧めるようにしている。
- WLBもよいが「お互い様」意識は低く、看護職の権利主張も顕著である。
- 時間外手当が生活給になっており、時間外が減らない。
- 短時間正職員制度が定着しているが、人数が増えており常勤看護師の負担が大きい。
- (民間) 短時間正職員を増やしていきたい。
- (民間) 定年まで働く看護職が増え定着率が高くなった。若い世代の入職も増えている。
- (保健センター) 行政職としての仕事が多く、現場が遠くなっている。
- (保健センター) 小さい職場で、現任教育の計画を立てても、年単位で継続的に実施するのは難しい。先輩も後輩も担当業務を行うことで精一杯。



施設では、看護管理者にお会いし、お話をしましたが、駆け足での訪問にもかかわらず、どこの施設でも丁寧に対応していただきました。訪問は、看護連盟の活動（以下、連盟活動という）をお伝えし、施設や看護管理者の抱える様々な問題を直接伺いする、大変貴重な機会となりました。訪問でいただいた「現場の声」は、日本看護連盟に挙げるとともに、石田昌宏参議院議員が来県したときに手渡しをいたしました。

2回目の訪問は、平成30年度の会員確保が主たる目的でしたので、会員施設だけでなく、会員のいない施設も訪問させていただきました。11月17日から30日までの間の4日間で実施しましたが、例年より早い雪に見舞われ、16施設にとどまりました。

会員のいない施設では連盟活動の必要性を訴え、入会の働きかけを行いました。どこの施設でも連盟活動についてはご理解をいただけたのではないかと思います。会員施設では、さらなる会員増をお願いしました。また、2回目の訪問でも「現場の声」をたくさんいただきました。

今年度2回の施設訪問を実施し、52施設を訪問することができたことは、看護連盟として大きな活動になりました。施設を種別に見ますと、公立系病院20施設、民間病院17施設、保健所と教育機関がそれぞれ4施設、保健センター3施設、訪問看護ステーション3施設、介護施設1施設という状況でした。直接、看護管理者とお話することで、連盟活動への理解も広がると実感しました。この紙面をお借りして、ご協力いただきました看護管理者の方々にお礼申し上げます。また、皆さんからいただいたご意見は、山形県看護連盟の今後の活動に生かすとともに、日本看護連盟にも届けていきたいと思っております。

連盟活動においては会員の確保がとても重要で、現在の会員数は1,002名、看護協会員数に対し約13%という状況です。全国平均の30%にはまだ遠く、施設訪問など地道な努力を重ねていくことと、山形県看護協会との連携や各施設の看護管理者の理解が重要になると考えています。年度末になり、平成30年度の活動計画を策定中ですが、これからも施設訪問を継続し、看護管理者と協働できる関係を構築していきたいと考えています。

- ・(特養) 看護師が医務室にとどまてはいないか。施設内でのリーダーシップの発揮が大切。
- ・(特養) 看護師の配置基準が低く(利用者80人に3人)利用者の重度化に対応できない。

4. 賃金について

- ・夜勤を5回以上行っている看護師にはプレミアをつけたいが、公立病院のため難しい。
- ・夜勤要員不足が深刻。夜勤手当の見直しがされると状況は変わると思う。
- ・夜勤手当が見直されると、夜勤希望者も増えると思う。(多数)
- ・認定看護師の資格を取っても給料面での評価は何も変わらず、希望者もいない。
- ・医療職三表は、ベテランになると昇給率がなだらかで、給与体系の見直しが必要である。
- ・(民間) 夜勤手当は、今年も交渉をし500円アップの12,500円になった。
- ・(民間) 夜勤手当を15,000円(県内一)にした。夜勤の希望者が増えた。
- ・(民間) 夜勤手当のアップを実現準夜・深夜で12,300円になった。
- ・(民間) 系列の病院間の夜勤手当の格差を是正し、東北地区13,000円に統一した。

5. 看護教育

- ・(民間) 今年度より実習を受け入れ、来年度の新人確保につながった。
- ・県内での看護教員養成が継続されず、教育現場は厳しい。他県での受講も難しく費用もかかる。
- ・看護教員養成を、東北の複数県グループで輪番で開催してもらえないか。
- ・他県では看護学校・看護大学の増設が目立つ。県内から県外への進学者が増えるのではないか。その結果県内に戻らない状況にならないか。
- ・(進学コース) 様々な背景の学生が集まる。准看護師教育の到達基準がないため到達度がまちまちで、基礎教育からせざるを得ない。国家試験に向けて、教師の業務もハードである。

6. 社会・地域の変化

- ・新病院の構想が進んでいるが実現は7～8年後、地域がどのように変わっていくか不安。

7. 高齢社会の対応

- ・(訪問看護) 介護認定にならない老人の行き場がない。
- ・(訪問看護) 利用者のケアについて、ケアマネとの認識の違いが大きい。
- ・(訪問看護) ケアによって利用者の状況が改善したことが評価される仕組みがない。

8. 連盟活動

- ・必要性は理解できる。入会の働きかけが難しい。・若い世代の関心が低く、増員を図るのが困難。
- ・勤務移動により、入会手続きがあいまいになりがちである。
- ・十分な説明と理解を得たうえでの入会がベターと考えている。
- ・看護連盟の支持政党が自民党ということが、会員拡大を難しくしている。



今後の予定

平成30年度 山形県看護連盟通常総会ならびに
特別講演

日 時 平成30年5月26日(土)
12:00～14:00 通常総会
14:30～16:30 特別講演
場 所 山形ビッグウィング 国際交流プラザ

特別講演

講 師 テルモ株式会社特別顧問
松 村 啓 史 氏

平成30年度 日本看護連盟通常総会

日 時 平成30年6月5日(火)
場 所 ザ・プリンスパークタワー東京

議員 コーナー

※石田まさひろ氏来県日時
・平成30年3月4日(日)
・平成30年9月2日(日)
・平成31年3月21日(木・祝)



看護連盟の豆知識

看護協会と看護連盟は役割を分担しながら協同して活動し問題解決をはかります。

看護連盟は

1. 看護協会の提言する看護政策実現のために政策決定の場である国政・地方議会に代表を送ります。
2. 代表議員が看護問題の解決を政策決定の場で進展させるための支援をしています。



看護協会は

1. 国の保健医療福祉に関する諸検討会に委員として出席しています。
2. 毎年、看護政策をまとめた要望書を政府に提出しています。



会員募集中!

1ヶ月667円で
私たちの暮らしが良くなる
仕事が楽しくなる!

看護職は生涯現役のお仕事です。第2、第3の職場でも連盟会員の継続をお願いします。

連盟会員	◎正会員 ・公益社団法人山形県看護協会会員の方 会費 8,000円 (本部会費 5,000円 県会費 3,000円)	賛助会員 家族、知人等一般の方 当連盟の趣旨に賛同いただける方なだでも入会していただけます。 会費 1,000円
	◎特別会員 ・正会員であった方で就業せず公益社団法人山形県看護協会会員でない方 会費 8,000円 (本部会費 5,000円 県会費 3,000円)	学生会員 看護学生で当連盟の趣旨に賛同いただける方を対象としています。 会費 無 料

連絡先

山形県看護連盟事務局

〒990-0023 山形市松波4丁目-1-39

TEL. 023 - 633 - 8153

E-mail: kango_ya@bz03.plala.or.jp

編集後記

今回県内施設の訪問をさせていただき、勤務環境や悩んでいる事項などを知る機会となりました。職場の声が政治の場へつなげられればと思い41号の中心に据えました。



NYP584



¥10,800(税込)

NYP559



¥10,800(税込)

NYP578



¥10,800(税込)

NYP566



¥10,800(税込)

スイングストーンペンダント

- ・一粒ダイヤネックレスより輝く。
- ・キュービックジルコニアの輝きはダイヤに引けを取らない。
- ・キュービックジルコニアとは？

ダイヤモンドを評価する4Cのカットでいえば「Excellent」カットにあたり、ダイヤに引けを取らない輝きを発します。

酸化ジルコニウムに、いくつかの鉱物を合わせて造られたもので、硬度・光の屈折率・光の分散率が天然のダイヤモンドに非常に近い近年世界的に人気の人口石です。

Grand Feather グランドフェザー

〒940-0044 長岡市住吉1丁目5番17号

(お問合せ先) TEL 0258-33-3208

FAX 0258-33-3210

URL <http://grandfeather.jp/>